

■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

▲注意

- 感電・漏電のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- ・電源を既設のコンセント以外からとる場合、電気配線工事は必ず電気工事が資格者が行ってください。
- ・電源線の接続は、電気が通っていないことを確認してから行ってください。

■施工上のお願

- この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
- 他の有線スイッチセットとの併用はできません。専用スイッチをご使用ください。
- センサーは天地逆向きにしないでください。
- 風力センサーは風通しの良い場所に設置してください。
- センサーを作動させる前に、モータのリミット調整を行ってください。
- リモコン送信機の先端△ボタンで、巻き取り方向に作動するようにしてください。
- 1個のセンサーセットで複数のリモコン式モータを作動させることができますが、可動式日除けの安全保護を考慮し、配置してください。
- 1台のリモコン式モータへのセンサー登録は3個までです。
- 暖房器や湯沸器など熱源に近いところには取付けしないでください。
- 腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用する場所には取付けしないでください。

リモコン式 風力センサー（以下センサ）は、受信機内蔵無線式モータ（以下モータ）と組み合わせ、風力検知によりモータを自動運転するためのセンサです。

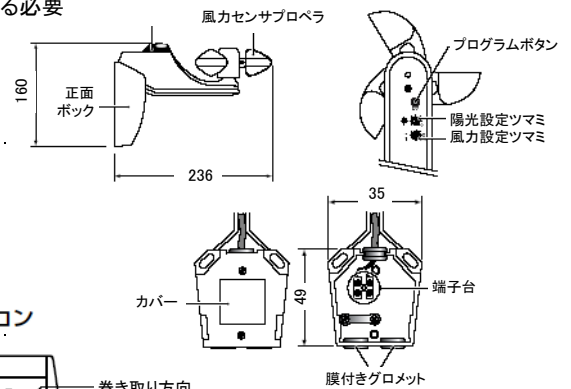


付属品	数量
電源ケーブル (5m, 2芯)	1
ネジ	2
プラグ	2
設定手順書(本書)	1

※ センサの設定を行うためには、モータに1台以上の リモコン送信機（ソムフイ製 Telis 1 RTS 426, Telis Soliris RTS 426 など）が登録されている必要があります。又、陽光検知機能は装備していません。

1. 仕様

- ・電 源：AC100V 50/60Hz
- ・出 力：特定小電力無線 426MHz 1mW 以下
- ・使用温度範囲：-20℃ ~ +50℃
- ・到達距離：コンクリート壁をはさんで約20m



2. 結線

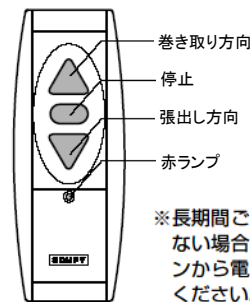
- 1) 付属の電源ケーブルをセンサの端子台に結線します。■リモコン
- 2) 電源ケーブルを主電源に接続します。

※センサにはアース線はありません。

3. リモコン送信機の作動方向の確認

右図の通りか確認してください。

※右図の通りであれば、設定は不要ですが、操作ボタンと作動方向が違う場合は、リモコン送信機の説明書に従い、①オールクリア、②初期設定により作動方向を右図に合わせてください。



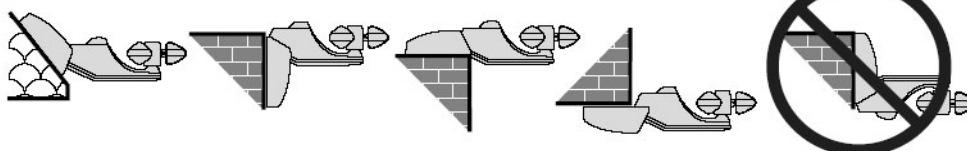
4. センサの取付け

端子台カバーを取付け、付属のネジ、プラグを使用して、オーニングまたはスクリーン等の近傍で風のあたりやすい場所に、風力センサの回転軸が地面と垂直になるように設置してください。尚、オーニングの直上位置は、オーニング自体で風をさえぎりますので、さけてください。

< センサ取付け手順 >



< センサ取付け例 >



※ 逆付けは雨水が浸入し故障します

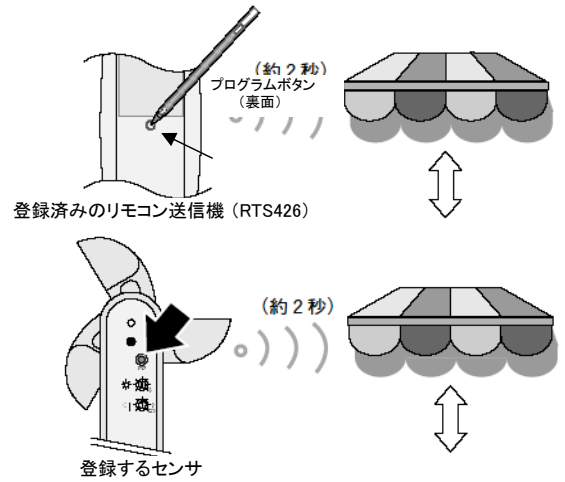
100V 50/60Hz

## 5. センサの登録

1) モータに登録済みのリモコン送信機（彩鳥本体セット同梱のリモコン送信機は、同セットのモータに登録済みです。）のプログラムボタンを、モータが1回上下に小さく動くまで（約2秒）押してください。

2) センサ背面のプログラムボタン（赤色）を、モータが1回上下に小さく動くまで（約2秒）押してください。センサの登録が完了します。

- ※モータには最大 3 台のセンサが登録可能です。
- ※モータへの 2 台目以降のセンサの追加登録も上記の 1)～上記 2) の操作で追加登録ができます。
- ※センサの風力設定つまみが **demo** の位置の状態ではセンサを登録すると、モータは 2 回上下に小さく動きます。
- ※1)、2) の操作を再度行なうとセンサの登録が削除されます。



## 6. 風力検知感度の調整

### 1) 風力検知動作の確認

風力検知を作動させたい強さの風が風力センサに当たっている時に、風力検知が作動する事を確認してください。尚、風力センサを手で回して確認することもできます。

### 2) 通常モード → デモモードへ切り替えての風力検知感度の調整

▶ デモモード時、風力検知感度は約 3m/秒に固定されます。

※ 通常モードでも検知感度の調整は可能ですが、検知開始・解除時間が長くなりますので、施工時には時間の短いデモモードをおすすめいたします。

センサ背面の風力設定つまみを時計方向に回して **demo** の位置に合わせてください。デモモードに切り替わり、モータが上下に小さく動きます。



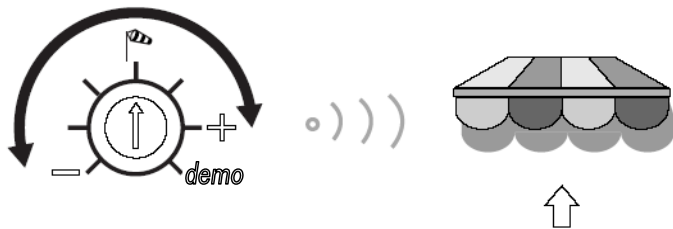
- ※ モータの出荷時初期設定は通常モードです。
- ※ センサの風力設定つまみの出荷時初期設定は - の位置です
- ※ モータに複数のセンサが登録されている場合は、全てのセンサの風力設定つまみを **demo** の位置に合わせてください。尚、2 台目以降のセンサの風力設定つまみを **demo** の位置に合わせた時には、モータは動きません。

通常モード、デモモードでの風力検知の開始・解除時間は下記の表のとおりです。

	風力検知		
	開始時間	解除時間	
通常モード	約4秒	約30秒	リモコン送信機 (RTS426) での動作が可能になる時間
デモモード	約4秒	約5秒	リモコン送信機 (RTS426) での動作が可能になる時間

### 3) 希望する風力検知感度にする

希望する風力検知感度にセンサ背面の風力設定つまみの位置を合わせてください。同時にデモモードから通常モードに切り替わり、モータが上下に小さく動きます。



設定つまみの位置と検知感度の関係

風力設定つまみ	風力検知感度 (m/秒)
+(6目盛)	13.0
5目盛	11.0
4目盛	9.0
3目盛	7.0
2目盛	4.5
-(1目盛)	3.0

※ 4目盛設定が目安ですが、センサ設置場所の風の当たり具合により、調整してください。

## 7. センサ機能が無効の場合

モータに登録されている 風力・陽光センサが故障や電源オフなどで機能が無効の場合は、安全のため一定時間後に、モータが作動し、巻き上げます。